

なるほど健康講座

『認知症の方への対応方法』



クアメント訪問看護ステーション
師長 鷹羽 佳美

認知症は自分には関係ないと思っ
ている方が多いと思いますが、2025年
には今より更に700万人増え、5人
に1人が認知症を発症すると言わ
れています。又、自分だけではなくご
家族にも認知症になる可能性は十
分あります。

前号(81号)で岡安先生が「物
忘れ 何を食べたら良いのか」に
ついて書かれていますのでその続
きとして「認知症の方への対応
方法」を掲載します。

認知症の方の特性

- ①強い不安と自信喪失の中にいる
 - ②正常の部分と認知症として理解すべき部分がある
 - ③病状の現れ方が相手によって変わる
 - ④自我を失ったわけではなく感情を持っている
 - ⑤説得や否定はこだわりを深める
 - ⑥一見異常に見える行動や症状にも本人なりの意味がある
- *認知症の方への対応方法***
- ①人として尊重し敬意を払う
- ・基本否定しない。優しさの演技(女優になりましよう)

嫌がるような時は強引にせず少し待つ。

又は話題を変えたり、興味をそらす

・体調や気分に合わせて対応

・残っている力を理解し活かす

・笑顔の効果、余裕をもって笑顔で対応

②その人にあつたケア

・パーキンソン症状があればリハビリをし転倒しないようにする

・脳トレ

・作業療法▼手芸、折り紙、園芸、編み物、塗り絵

・音楽療法▼歌、カステネットなど簡単な楽器演奏

・学習訓練療法▼計算、音読、パズル、俳句、かるた

・回想法▼古いおもちゃやアルバムを見て自分の歴史を話す

③その人の病気を理解する

・ご飯をたべていないなどと言ったら↓否定せず、今から準備をするから出来るまでこれを食べて待っていてと少量のおやつを食べてもらう(そのうちに食べてないと言った事も忘れてしまう)

・お財布が無くなったなどと言ったら↓一緒に探す

・リアルな幻覚や幻視が見えると言ったら↓『そういう事は全くない』『変なことを言わないで』などと本人を否定しない

・夕方(夕方に)に買物に行っていた記憶が残っていたりする為、早めに夕食作りをして寄り添う時間を持つようにする

④家族への支援も重要

・一人で抱えこまない。他の家族に相談

・困ったときには近くの包括支援センターや訪問看護師に相談

・オレンジカフェなどに参加(近隣の包括支援センターで認知症の方達の集まりがあります)

⑤明医研にはいつでも相談できる相談センターがあります

在宅療養相談センターさいたま南

TEL 0120・373・173

FAX 048・749・1710

電話受け付け時間

平日 9時00分～17時00分

土曜 9時00分～12時00分

***本人だけでなく家族の幸せもが認知症の方にとって一番大切な事です。みんなで認知症の方とご家族を応援します！**

